



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.5.7 No. 3211

専制支配の 暴走と闘争

事業団闘争支援！ 不当処分策動粉砕！ 動労千葉の訴えに共鳴！

動労千葉は、メーデーの闘い歴史に学び九〇年代勝利をめざし闘うという立場から、各地区メーデーを先頭で担いけん引してきた。

船橋、君津・木更津、館山、夷隅、佐倉、銚子の六地区メーデーでは、動労千葉からの特別決議や特別報告が満場の拍手

で採択され、県中央メーデー(ポータルタワー公園)に対しては、早朝から宣伝カーでのアップールと

専制支配のはじまりだ。我々も支援する」といつた声援と激励が多く寄せられたことである。

清算事業団闘争支援と三、一八ストへの不当処分策動粉砕を訴えてきた。

又、各地区メーデーに示されている点は、「連合」という逆流の中にあるながらも、それらに押し潰されず確実に闘いの息吹きが胎動をはじめているということである。



船橋地区

動労千葉の訴えに拍手わく！
—三〇〇名結集し市内デモ—

船橋地区は、全体で約三〇〇名が天沼公園に結集、動労千葉から新小岩、津田沼、京葉支部の組合員が結集する。会場でのピラマキはみるみるうちに終了、参加者は一生懸命読んでいた。NHKが高石君を中心にカメラを

まわしている。

集会所が盛り上がりつつある中で、田中書記長が事業団闘争、反処分闘争を訴える。ひととき大きな拍手が全体からおくられた。これを機に今後一層地域の仲間とのスクラムを強めてゆく決意を固めた。

われわれは、地区、地域での新たな流動化をしつかりと捉え物販やカンパ、署名活動など大胆・積極的に持ち込み交流と連帯を強めていかなければならない。とりわけ、

「事業団の仲間と家族を守れ」という訴えは心ある全ての労働者に受け入れられているのであり、この機を決して逃してはならないということが確認できる。

千葉地区



「JR総連 解体・掃 に声援！」

ポータルタワー公園の「連合」メーデーに対し、早朝から宣伝カーでの訴えとピラマキにうって出た。山田組織部長の力強いアジテーションに時おり拍手する者、「ガンバレヨ」と声援をおくる参加者もある。

〇〇〇枚のピラマキという間に配布しきる。「中央」メーデーは演壇の白けきったムードとは別に、参加者の中には「これでいいのかな」といった疑問視する向きもかなり感じられた。

特に「自民党を支持し事業団の首切りを要求するJR総連を許すな」という訴えには、「ヨシ」といった声援も出た。用意した二

夏は物販も本番開始である。われわれは千葉地区の各労組をドンドン訪問し訴え歩く必要を感じるところである。(他の地域メーデーの報告は逐次行きます)

万雷の拍手に包まれ！

夷隅地区メーデーには、勝浦、いすみ両支部が参加し、交流を深めてきた。大原小の体育館には三二〇名が結集し、熱気にむせかえっていた。

動労千葉からは、中村仁君が事業団労働者として、切実に実情と今後の決意を述べると、会場にひびきわたる大きな拍手がおくられた。事業団闘争支援、反処分闘争支援の特別決議も全員一致で採択された。

われわれは、地域の仲間の暖かい支援に励むためにも、団結を固め奮闘しなければならぬ。

夷隅地区

「事業団君が 支援訴える！ 特別決議を 満場一致採択」

